

公立中高一貫教育校における特色ある教育内容等

これまで福井県が取り組んできた高校教育の取組みを踏まえ、他県の併設型中高一貫教育校で行われている教育も参考にして、福井県における併設型中高一貫教育校において、どのような特色ある教育を進めるかを検討する。

1 少人数教育、習熟度別編成

進度の速い学習を進めるにともなう生徒の学力差の課題に対応するため、中学校において少人数授業を実施する学校が多い。習熟度別編成を実施する場合もある。

京都府立洛北高校 (附属中学校)	国語、社会、数学、理科、英語の5教科で、2学級3講座展開の少人数授業を実施
広島県立広島高校 (附属中学校)	英語、数学で中高教員が協力する習熟度別少人数指導を実施、中学校の学校独自教科「ことば科」でも、教科を超えたチームティーチングを実施

2 授業時間の弾力化

授業時数を増やす学校が多い（45分もしくは50分の授業を6時間から7時間実施）が、そのほかに学習時間を弾力的に運用する学校もある。

岩手県立一関第一高校	50分授業6限の後に、25分のモジュール学習を実施
佐賀県立武雄青陵中学校、武雄高校	朝20分の自習時間を設定。中学校は帰りにも25分の自習時間を設定。
さいたま市立浦和高校（附属中学校）	週3日第1限目に「Morning Skill Up Unit」を20分実施 一人1台のノートパソコンを使い、国語・数学・英語のeラーニングをベースに基礎学力を定着

3 論理的思考力、コミュニケーション能力の育成

与えられた問題を解くだけでなく、自ら設定した課題について調査・研究し、自分の考えを論理的にまとめる探究型の学習を重視する学校が多い。

- ・ 中学や高校で課題研究を実施
- ・ 中学生が卒業論文を作成
- ・ 日本語や英語でディベート、プレゼンテーションを実施

千葉県立千葉高校	スパイラル型カリキュラムをベースに、4人1組のグループ学習などにより学力を高めるとともに、学校設定教科「学びのリテラシー」、総合的な学習の時間「ゼミ」「プロジェクト」などによって、総合的な学力を育成
岡山県立岡山操山高校	総合的な学習「未来航路プロジェクト」で課題探究学習や体験学習等を実施、学校設定教科「コミュニケーション」では相手を理解し自分を表現する能力、ICT時代に対応するコミュニケーション能力を育成
その他、石川県立金沢錦丘高校、滋賀県立守山高校 など	

4 理数教育

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の取組や、大学進学対応のため、理数教育を重視する学校が多い。

- ・ 数学や理科の授業時数を増やす
- ・ 大学、企業等の外部講師による出前授業や校外研修
- ・ 課題研究の実施、科学オリンピック等への参加

茨城県立日立第一高校	高等学校にサイエンス科を設置。高校2年で、医学系・理工学系進学コースに分離
京都府立洛北高校	コンセプトをサイエンスに設定し、学校設定教科「洛北サイエンス」で深い洞察力、論理的思考力を育成
宮崎県立宮崎西高校	高校の理数科への進学を踏まえ、中学から理系教科を重視。ジュニア数学オリンピックや各種コンテストに挑戦させるほか、最先端施設も訪問
その他、青森県立三本木高校、秋田県立横手青陵学院高校など	

5 英語教育

グローバル化への対応、大学進学対応のため、英語教育を重視する学校が多い。

- ・授業時数を増やす
- ・学校独自教科として、会話や発表を重視した英語の授業を実施
- ・朝や放課後に英語リスニングの時間を設定
- ・学校行事として、海外語学研修等を実施

宮城県立古川黎明高校	A L Tとのティームティーチング、少人数編成、習熟度別編成授業等により、中学卒業で英検 3 級、高校で英検 2 級取得を目指す
東京都立富士高校	英語圏の子ども向け絵本等を用いて多読を実施、中学 3 年で 15 万語の単語に触れる。 名スピーチの暗唱、英語ディベートのほか、国内英語宿泊研修、海外研修も実施
その他、栃木県立矢板東高校、千葉市立稲毛高校、徳島県立城ノ内高校 など	

6 情報教育・ICTリテラシー教育

高度情報化時代に対応するため、情報処理の能力や生徒自らがコンピュータやプロジェクト等の ICT 機器を活用する能力を育成する学校がある。

- ・コンピュータを活用した授業の実施
- ・生徒自ら機器を操作して調べ学習や課題研究の成果を発表

秋田県立大館国際情報学院高校	中学校初期の段階からコンピュータを活用した学習を進める。 資格試験や検定試験にもチャレンジ
京都市立西京高校	学校全体に LAN 環境、生徒一人ずつにノートパソコンを整備し、ICTリテラシーを育成。グループプレゼンテーションに活用する演習室のほか、講堂も整備
佐賀県立武雄高校	総務省「フューチャースクール事業」、文科省「学びのイノベーション事業」の実証研究指定校 約 2 キロ離れた併設中学校と電子会議システムで交流、生徒がタブレットコンピュータを持ち探究型、発信型の学習を実施
その他、さいたま市立浦和高校、北杜市立甲陵高校 など	

7 その他、特色ある教育内容

表現力の育成	秋田市立御所野学院高校	学校設定教科「表現科」を設定、言語表現、身体表現、芸術表現を通して感性を磨く
	静岡県立清水南高校	学校設定教科「表現」で、身体表現を中心に、言語、音楽、造形表現を組み合わせた総合的な表現活動を実施
ものづくり等	大阪市立咲くやこの花高校	ものづくり、スポーツ、芸術等、早くから興味関心のはっきり表れやすい分野の才能を伸ばす
郷土学	鹿児島市立鹿児島玉龍高校	郷土学習「かごしま学」を実施